

1 公立小中学校給食費の無償化



2 乳幼児・子ども医療費助成 (18歳年度末まで所得制限および一部自己負担なし)

62の中核市のうち、

両方とも実施しているのは本市を含め **7** 市のみ

※公立小中学校給食費の無償化は令和8年1月時点（本市調べ）、乳幼児・子ども医療費助成は令和7年4月時点の情報（こども家庭庁 令和7年度「こどもに係る医療費の助成についての調査」）

1 公立小中学校給食費の無償化

小学1年生から中学3年生までの給食費（保護者負担）が **0** 円

（参考）9年間の給食費の合計額

46万3,039円

※令和6年度の学校給食費で算出



2 乳幼児・子ども医療費助成

0歳から18歳までの医療費が **0** 円。処方薬も **0** 円

※高額療養費、附加給付金、保険適用外の自己負担金を除く



子どもの健康と教育の充実化、家庭での経済的な負担軽減を実現し、安心して子育てができる環境整備に取り組んでいます。このほかにもさまざまな経済・相談支援を充実させています。詳しくは、次ページをご覧ください。

子育てに優しいまちへ

いわき市長 内田 広之

私自身、自分の子育てを振り返ると、失敗や反省ばかり。しかし、我が子が運動や勉強で頑張り、成長の姿を垣間見た時は、我を忘れて熱くなりました。いわきには、綺麗な海、キャンプができる山、脳や身体にもいい贅沢な魚も揃い、子育てには最高です。

小中学校給食費無償化も開始し、学力向上や生徒指導への支援、発達障がい児支援、特別支援教育充実も進めています。全小中学校のトイレ洋式化・特別教室エアコン整備も急いで進めています。新たにインクルーシブ広場（老若男女、障がいのある方もない方もあらゆる方々が集まれる広場）の整備も進めています。子育てに優しいまちへ更なる進化を目指します。



特集 1

未来、を育てる

～子育てが笑顔と安心に包まれるまちへ～

こどもの日々の成長を喜び、自分に似たところを見つけては嬉しくなり、また、親になることで自身の親への感謝や尊敬の気持ちを改めて実感します。

こうした毎日の子育てが笑顔と安心に包まれるまちを目指し、切れ目のない子育て支援に取り組んでいます。



妊 娠 前 から 高 校 生 まで

切れ目のないサポートを！

お問い合わせ

- ・放課後児童クラブ利用料、地域子育て支援拠点：こども政策課 ☎22-7013
- ・保育料：保育・幼稚園課 ☎22-7458
- ・児童・母子福祉手当関係：こども家庭課 ☎27-8563
- ・教育相談、チャレンジホーム：総合教育センター ☎22-3716



妊 娠

出 産

未 就 学 児

小 学 生

中 学 生

高 校 生

妊産婦健診助成

- 妊婦一般健康診査
15回まで無料
- 産後健康診査
2回まで無料
- 妊婦精密健康診査

妊婦のための支援給付

- 妊娠時：5万円
- 出産後
妊娠したこどもの人数×5万円

遠方病院への通院費助成

- 体外・顕微授精の交通費
- 妊婦健診の交通費
- 出産のための交通・宿泊費

プレママ・プレパパクラス

おもむ交換などの育児体験や栄養講話など、妊娠・出産・育児に関する疑問や悩みを解消し、赤ちゃんを安心して迎える準備ができます。



不妊・不育症専門相談

不妊検査や治療方法などを医師やカウンセラーなどの専門職に無料で相談できます。
こども家庭課 ☎27-8597

乳幼児・子ども医療費助成

0歳から18歳までの医療費・処方薬が無料 ※高額療養費、附加給付金、保険適用外の自己負担金を除く

児童手当

- 3歳未満：月額15,000円 ※第3子以降：月額30,000円
- 3歳以上：月額10,000円 ※第3子以降：月額30,000円

任意予防接種助成

- おたふくかぜ：4,000円/回を助成

出産育児一時金

50万円

新生児聴覚検査助成

- 自動聴性脳幹反応検査
8,500円/回
- 耳音響放射検査
3,000円/回

保育料無償化

3歳～5歳まで無償
※市民税非課税世帯は、
0～2歳も無償化



- インフルエンザ：2,000円/回を助成

給食費無償化

R7.4から公立中学校、R8.1から公立小学校の給食費を無償化

放課後児童クラブ利用料助成

- 生活保護世帯・市県民税非課税世帯
上限11,000円/月
- 児童扶養手当受給世帯
上限5,500円/月

ひとり親家庭等応援金

10万円/人
※児童扶養手当受給世帯に限る
／令和7年度からスタート／
支給時期は、中学校卒業年度の3月中

就学支援金

- 公立：上限9,900円/月
- 私立：上限33,000円/月

奨学給付金

- 生活保護受給世帯
公立：年額32,300円
私立：年額52,600円
- 非課税世帯（全日制など）
公立：年額143,700円
私立：年額152,000円

家庭児童相談

こどもと家庭の問題について、地区保健福祉センター5か所に相談室を設置しています。相談室には専門の家庭相談員を配置し、家庭内のしつけや遊び、子育て全般の相談、養育についての経済的問題や家庭環境等の心配ごとなどを相談できます。内容によっては、児童相談所や関係機関と連携を取り、より良い方法を一緒に考えていきます。

教育相談

市総合教育センターでは、教職経験者が支援が必要なこどもの相談や不登校などの悩みをお聞きしています。相談室には遊具があり、小さなお子さんが一緒でも安心して相談することができます。



チャレンジホーム

さまざまな事情で不登校状態にあるこどもを対象に、学校とは異なる雰囲気の中で、学習や集団活動の体験を通して、学校への復帰を支援します。市内6カ所に設置しています。



ふくしま24時間子どもSOS

いじめなど困ったことがあったら、一人で悩まず、相談しましょう。
☎0120-916-024

ダイヤルSOS

不登校や体罰など困ったことがあったら、相談しましょう。
☎0120-453-141

経済支援

相談支援